

編 集 後 記

本号に掲載した豊国、野坂両先生の解説は、得難い労作なので、心から御礼を申し上げたい。

坂本画伯には、恒例の東京展覧会準備中のおいそがしいさ中に、特に表紙と文章を寄せていただいた。

この度、前々から御指導を受けている原秀雄先生にも、顧問就任を御願いしたところ、快く承諾して下さった。

北方山草創刊号で、大変協力して呉れた高野英二氏は、その後、目の疲労が激しくなってしばらく療養された。その原因の一端を負うものとして、感謝すると共にお詫びを申し上げる。

前号では樺太の植物について記したが、今回は千島について資料を集めてみた。懐古趣味ではないけれど、何時の日にか自由に渡航して、特有の草木の研究、観賞が出来ることを願って、一部は当時の記録を参考に編集した。

御批判を乞う次第である。

北 方 山 草 第 2 号

昭和 56 年 月 発行

発行所

小樽市 [REDACTED]
阿保精一方
北 方 山 草 会

印刷所

プリントショップ さとう
小樽市朝里 2 丁目 13 番 29 号
電 話 0134 - 54 - 1837 番